

がん相談業務 (院内におけるピア・サポート)

相談記録シート集計報告

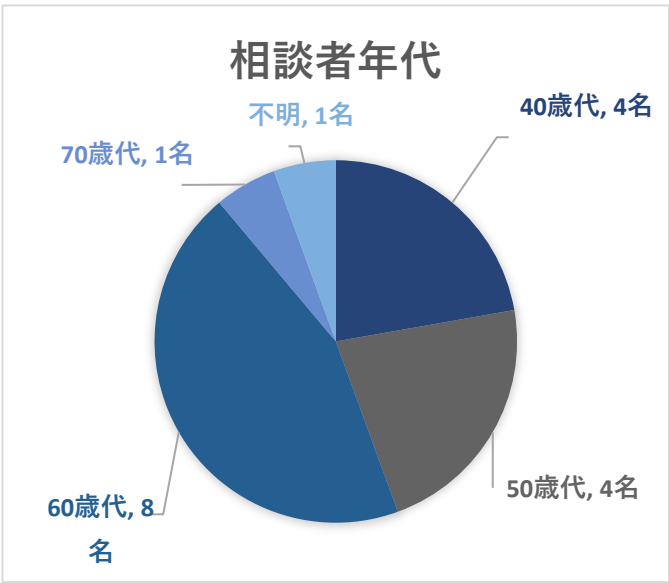
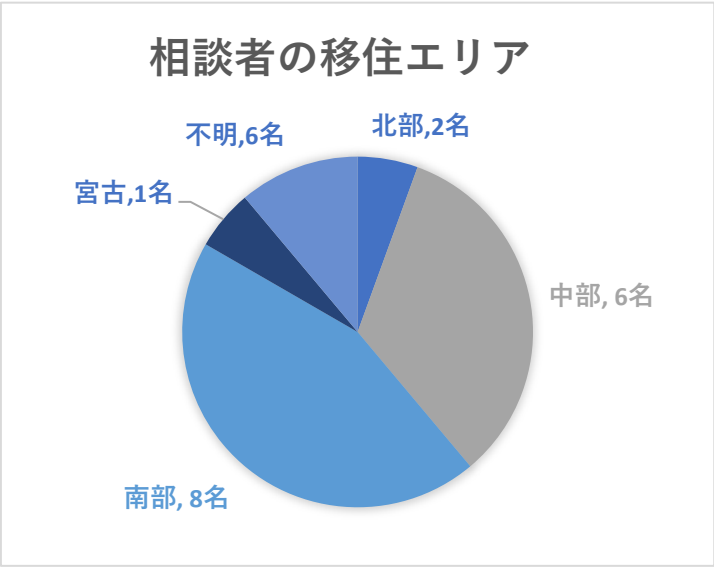
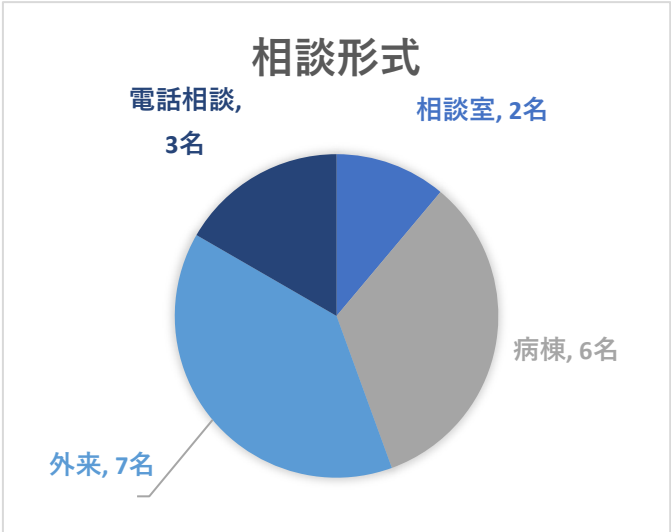
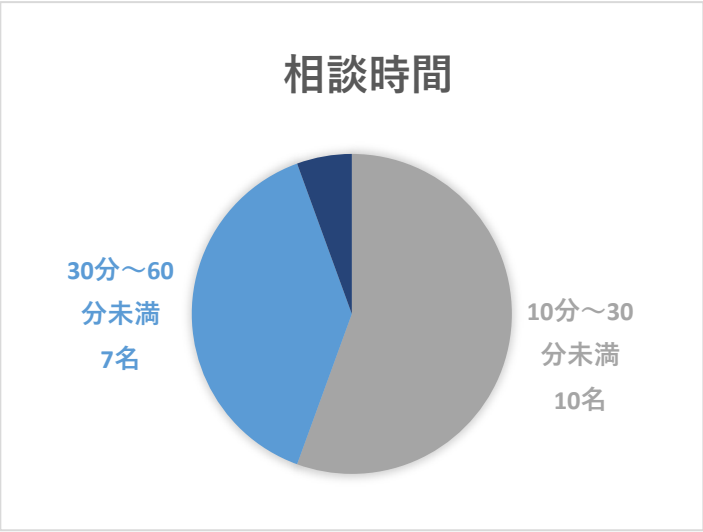
実施期間：令和6年1月4日～令和6年3月31日

沖縄県地域統括相談支援センター

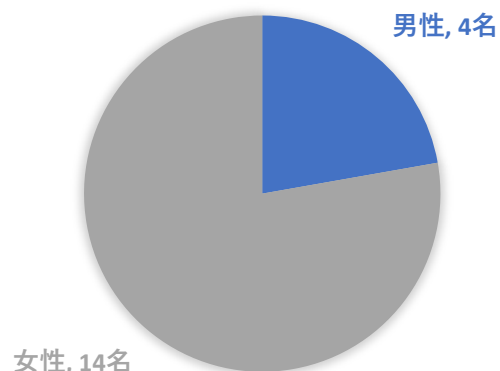
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

- 調査対象期間
- 令和6年1月4日～令和6年3月31日
- 調査件数
- 29件

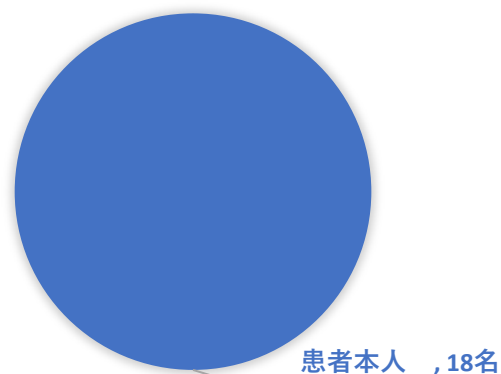
相談月	件 数
1月	3
2月	6
3月	9
合 計	18



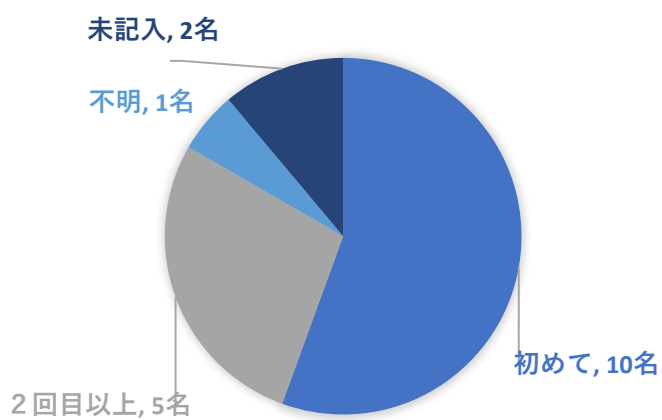
相談者の性別



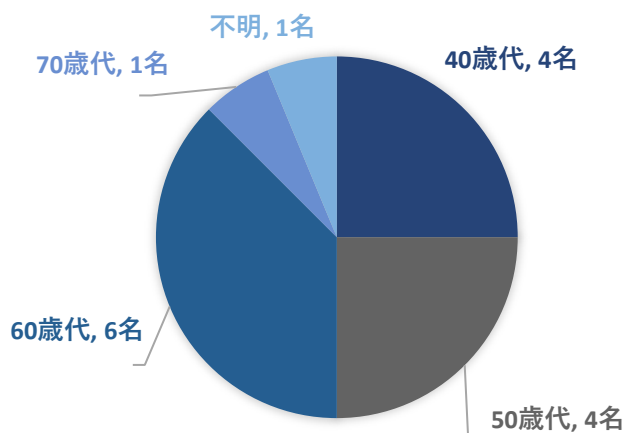
相談者のカテゴリー



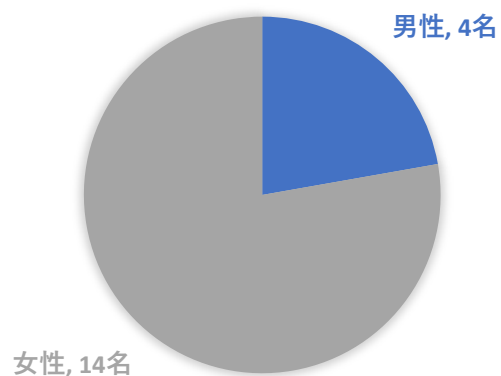
相談者の利用回数



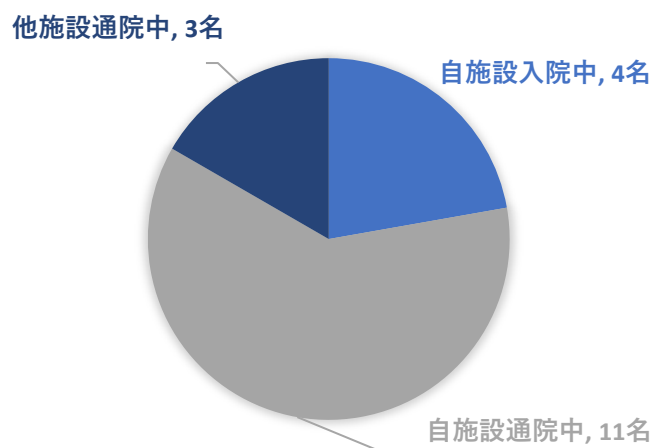
患者本人の年代



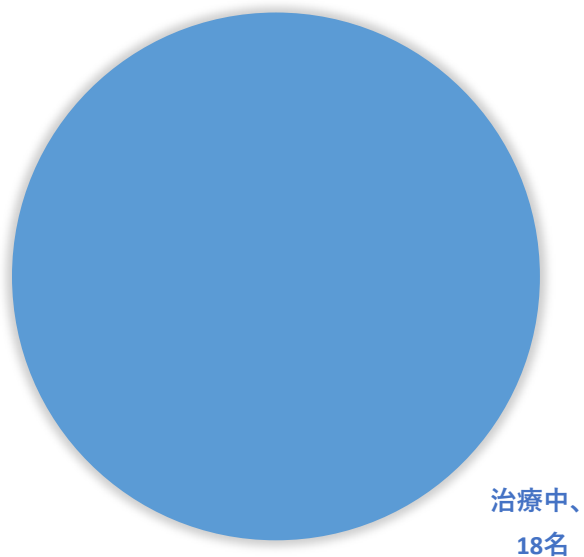
患者本人の性別



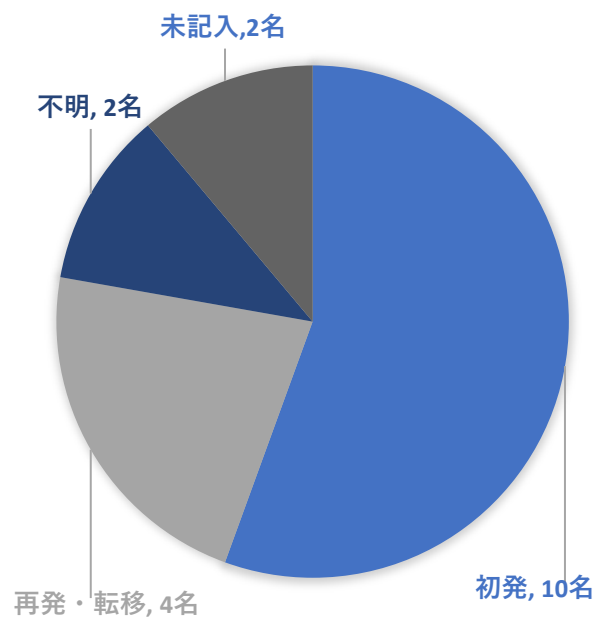
受診状況



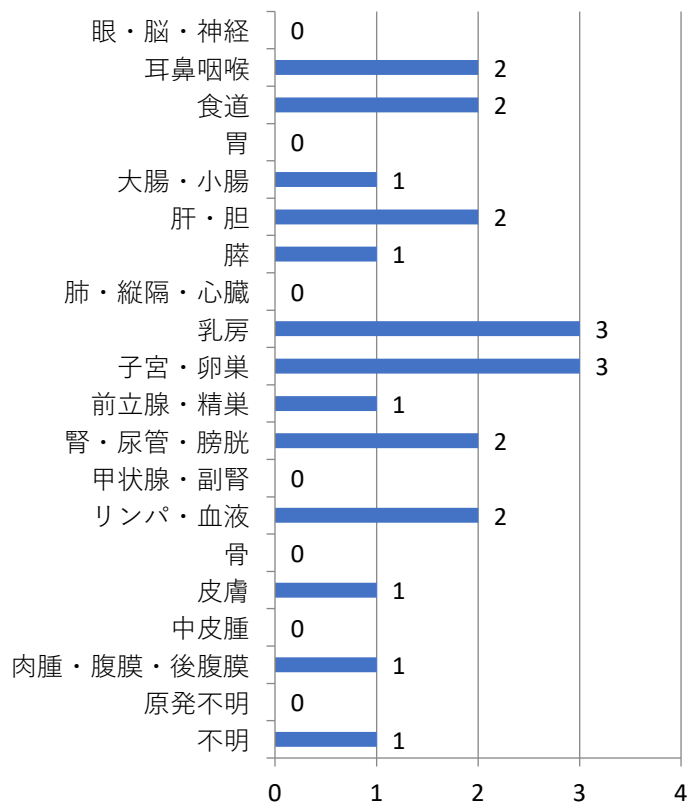
現在の治療状況



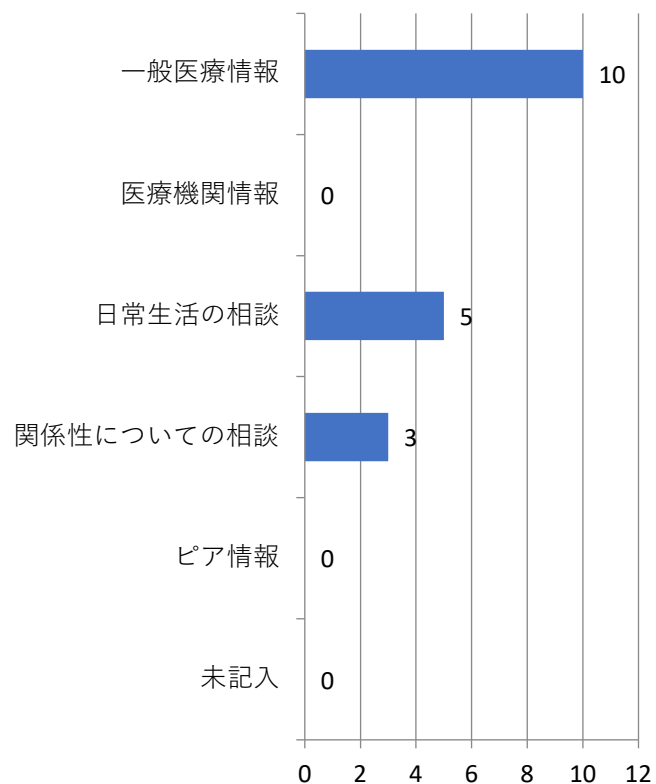
がんの状況



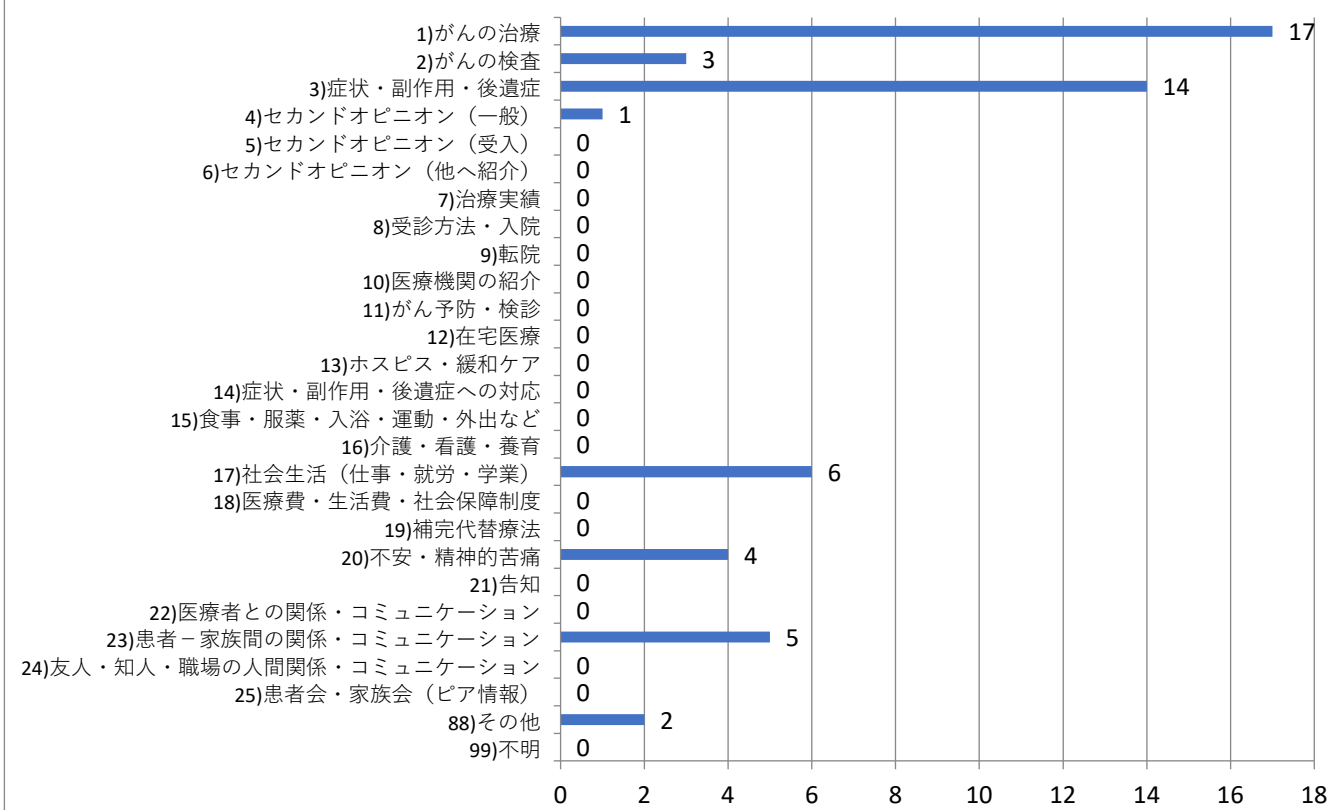
がんの部位



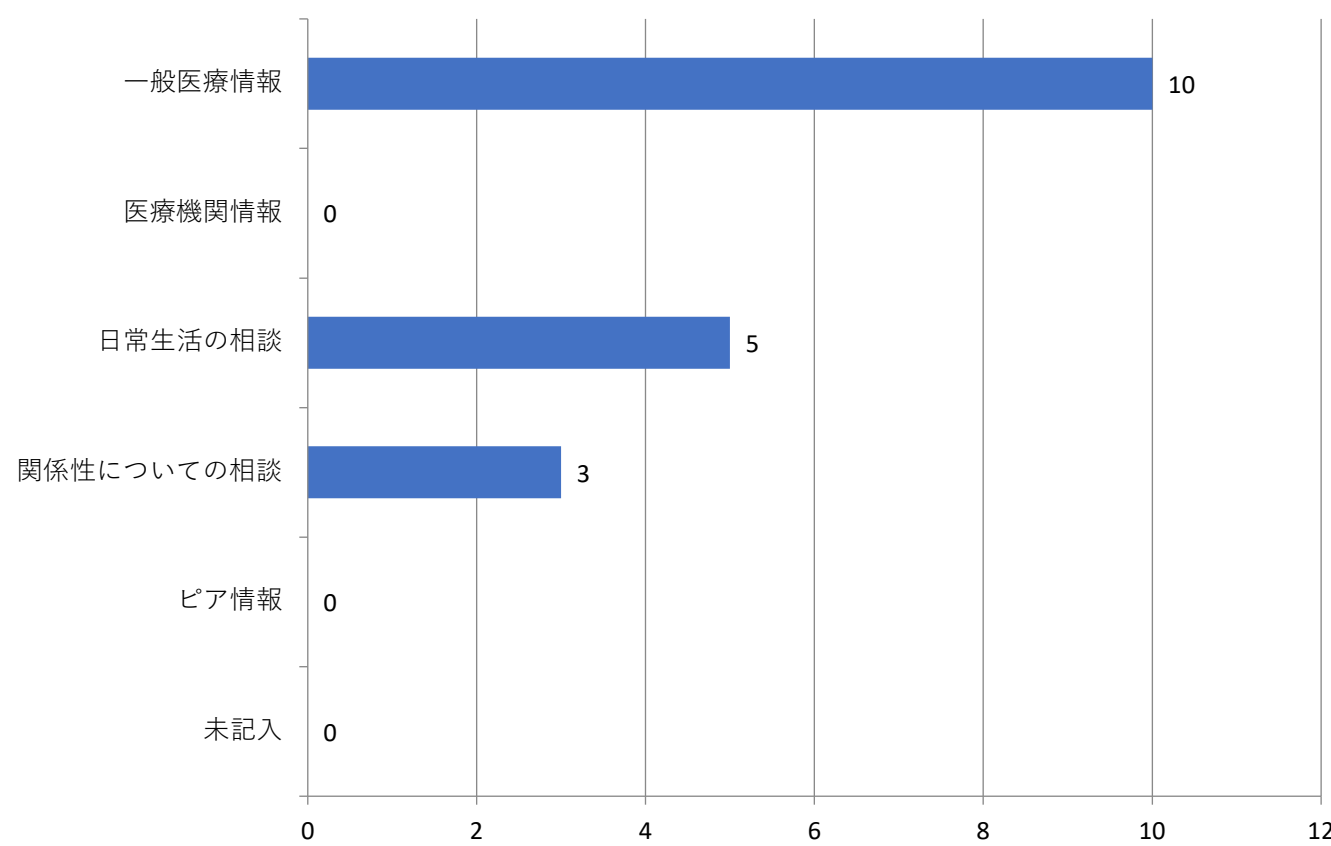
相談内容（実施したものすべて・大項目別）



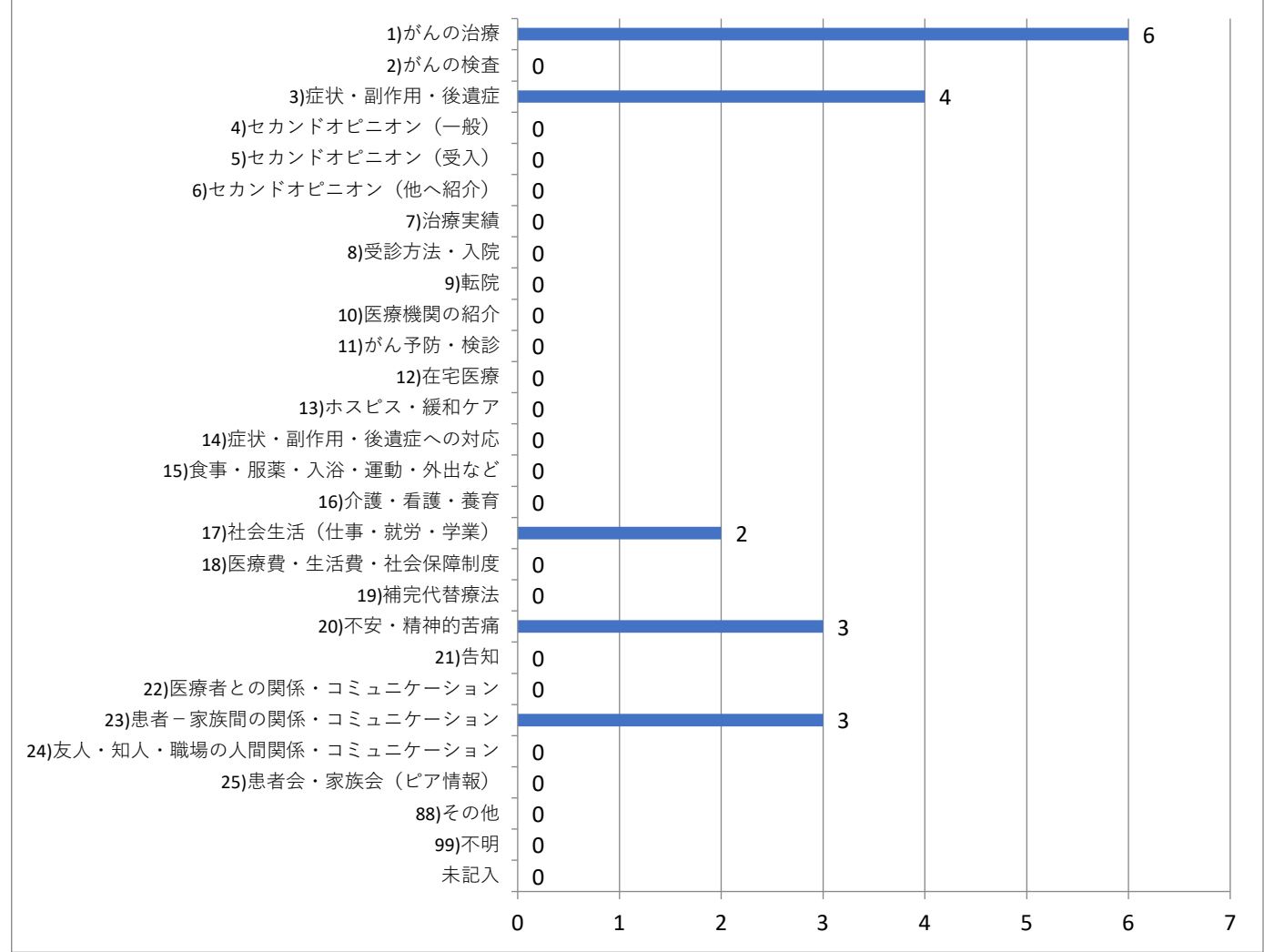
相談内容（実施したものすべて）



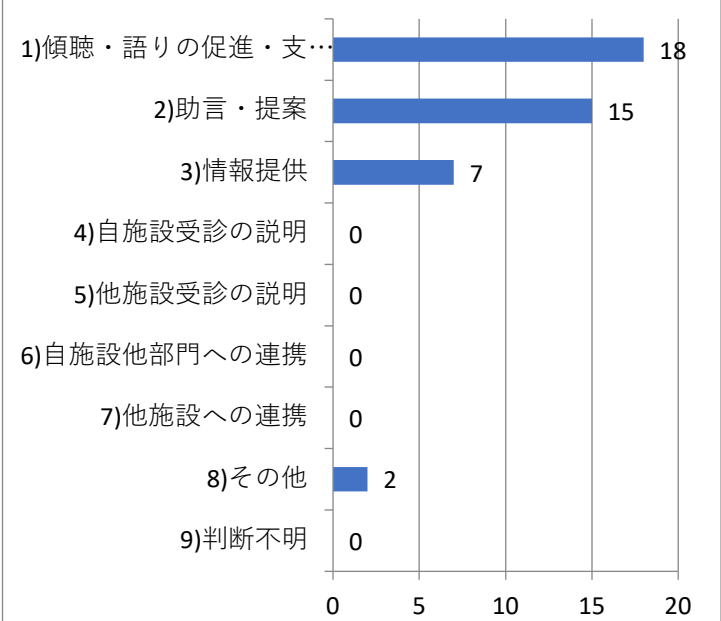
相談内容（最も比重の高いもの・大項目別）



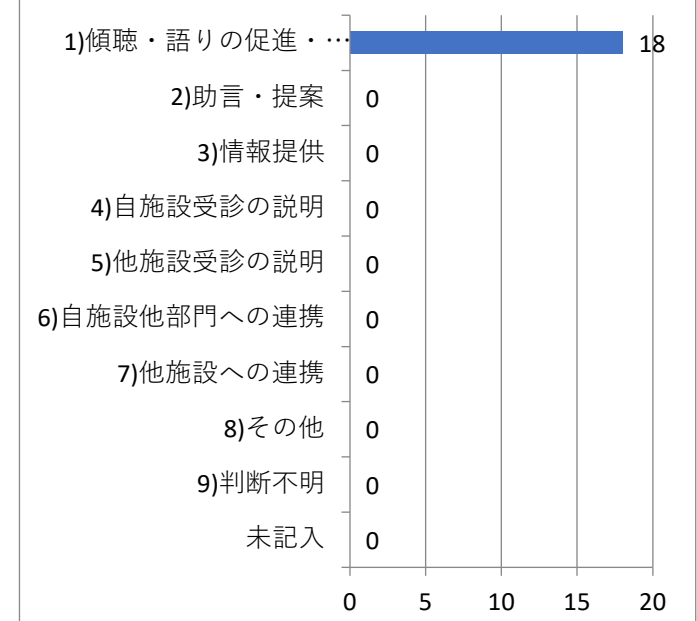
相談内容（最も比重の高いもの）



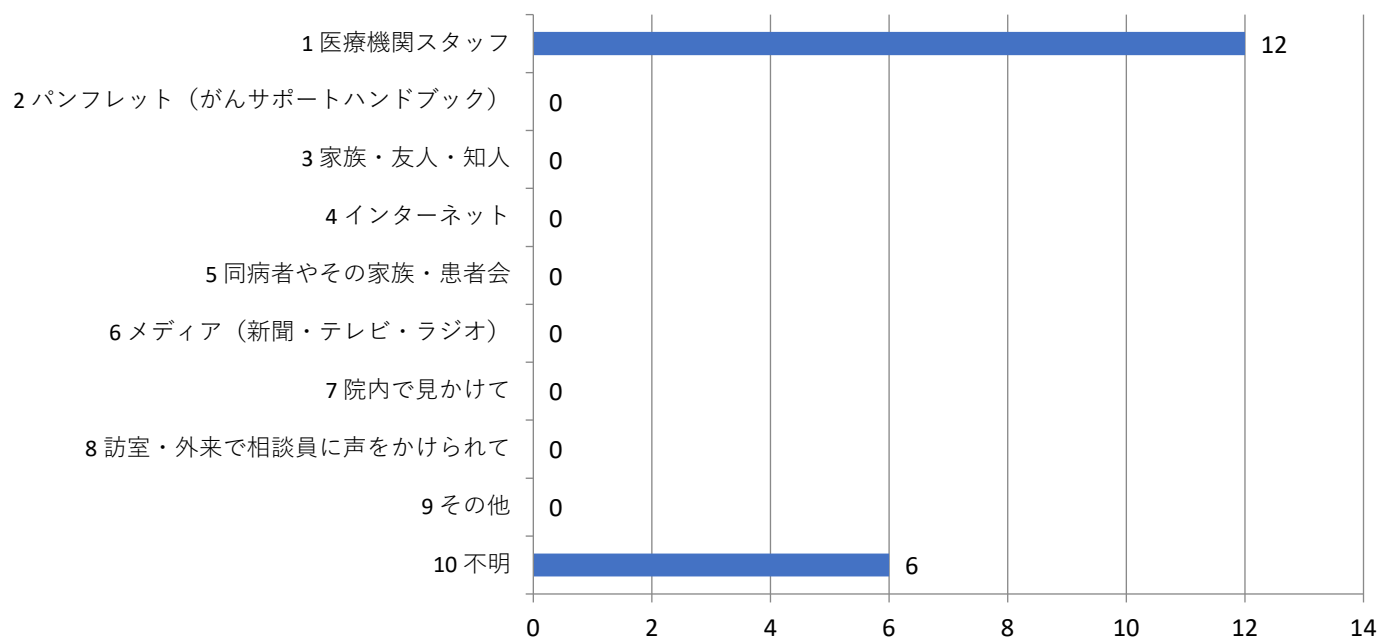
対応内容（実施したものすべて）



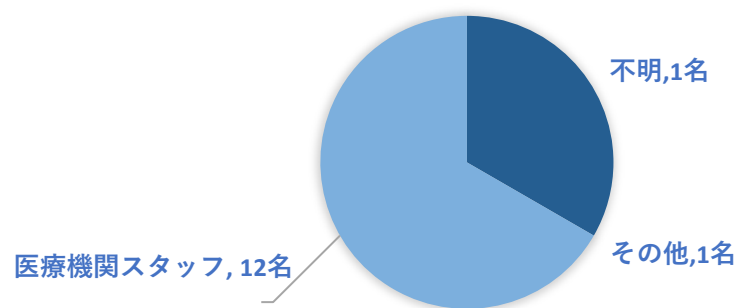
対応内容（最も比重の高いもの）



認知経路



認知経路



令和 5 年度 沖縄県委託事業

沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン
報告

令和 6 年 1 月～令和 6 年 3 月

令和5年度 がん ピア・サポーター派遣事業①

1. 名 称 令和5年度 第11回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

日 時 令和6年2月6日（火）14:00～16:00

派遣者 がん ピア・サポーター 1名

参加者 一般参加者 12名

院内スタッフ 5名（講師含む）

「がんと治療中の食事と栄養」について管理栄養士の小橋川先生よりご講演いただく。食事の工夫の仕方などの紹介もあり、質疑応答では痺れにオススメの食事なども提案がある。お食事に関してとのことで多くの方が参加。メモを取って熱心にお話を聞いていた。患者サロンでは各々日々の悩みを打ち明け、ピア・サポーターも同じ立場で自分の体験を語り情報交換をした。



2. 名 称 令和5年度 第12回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

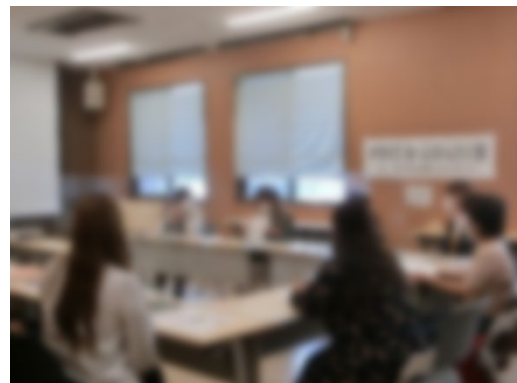
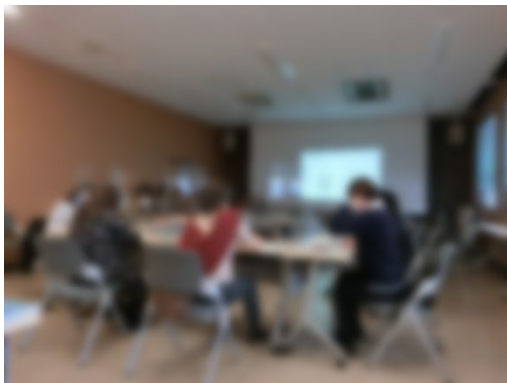
日 時 令和6年3月5日（木）14:00～16:00

派遣者 がん ピア・サポーター 5名

参加者 一般参加者 3名

院内スタッフ 4名（講師含む）

今回はカラーアートセラピストの豊見山さんによる「カラーアート」を体験と患者サロンに参加。本来の色を持つ意味を知り、自分の心の奥底を見る。カラーによってその人自身の想いや気持ちを知ること、対人関係にも活かすことができるという興味深い講演をしていただいた。実際に好きな色鉛筆を塗り、無心で色遊びをする時間は、がん患者さんにとっても良い時間になったのではないかと。患者サロンでは、ゆんたく会の場などの知ってもらうためにはという話題が上がる。ピア・サポーターを知ってもらうためにも院内患者サロンへ派遣を継続したい。



3. 名 称 第 140 回 那覇がん患者ゆんたく会

場 所 那覇市立病院 3 階講堂

日 時 令和 6 年 1 月 18 日（木）14：00～15：00

派遣者 がん ピア・サポーター 1 名

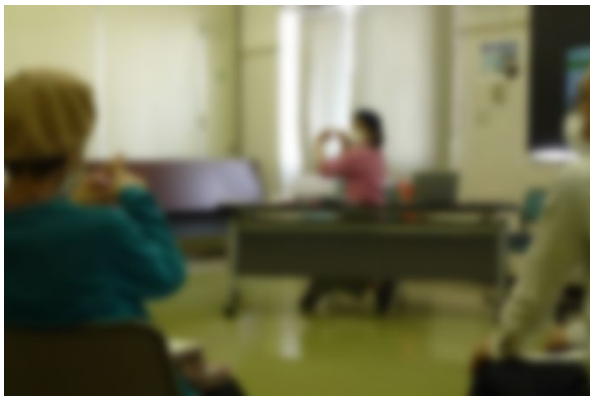
参加者 一般参加者 3 名

那覇市立病院 スタッフ 4 名

アピアランス支援モデル事業の実務者である琉球大学病院より砂川華さんが「がん治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア」について講演があった。

お話の中で実際に爪の切り方や家事がやりづらいなどの悩みに対応していた。

「ママは海賊」の絵本読み聞かせを行いどのように周りの人に伝えたらいいかなど対人関係についても色々な方法を紹介。患者サロンでは、家族にどのように伝えたらいいかなどがんを経験したという同じ立場でピア・サポーターからも体験を語り意見交換をした。みなさんでお互いのことを尊重し、がんと付き合い合っていく方法など情報交換もできた。



4. 名 称 第 141 回 那覇がん患者ゆんたく会

場 所 那覇市立病院 3 階講堂

日 時 令和 6 年 3 月 21 日（木）14：00～15：00

派遣者 がん ピア・サポーター 3 名

参加者 一般参加者 2 名

那覇市立病院 スタッフ 6 名

がん治療とお口の話将那覇市立病院の先生と口腔衛生さんから講話あった。がん治療をしていく中で口内炎や口の中の炎症は副作用として良くあること。患者さん含めピア・サポーターも熱心に話を聞く。質疑応答では、軟膏の塗り方やどこを診療したら良いのかなど、みなさんの疑問が解消できるように思った。専門の先生がいることで普段聞けないことを聞けたりと患者サロンならではの機会だった。今回養成講座修了生のピア・サポーター2 名も参加し、患者サロンの雰囲気を楽しんでいた。



5. 名 称 第回 中部地区ゆんたく会

場 所 中部病院 7階レストラン

日 時 令和6年2月22日(木) 16:00~17:30

派遣者 がん ピア・サポーター 1名

参加者 一般参加者 7名

中部病院 スタッフ 9名

患者サロンでは、近況報告を行い今回はもしバナゲームをして、自身の気持ちの整理やこれからの自分について話し合った。もしものための話し合いとのことで、一人ひとり選んだカードを共有する。病気に関わらず、中々話すことのないテーマもありみなさん感慨深い様子。みなさんで1つのことをすることで一体感と相手を知る機会を得るメリットがあると感じた。ピア・サポーターも一緒に考え、意見を尊重し合い共に良い時間を過ごした。



6. 名 称 第回 中部地区ゆんたく会

場 所 中部病院 7階レストラン

日 時 令和6年3月28日（木）16：00～17：15

派遣者 がん ピア・サポーター 1名

参加者 一般参加者 6名

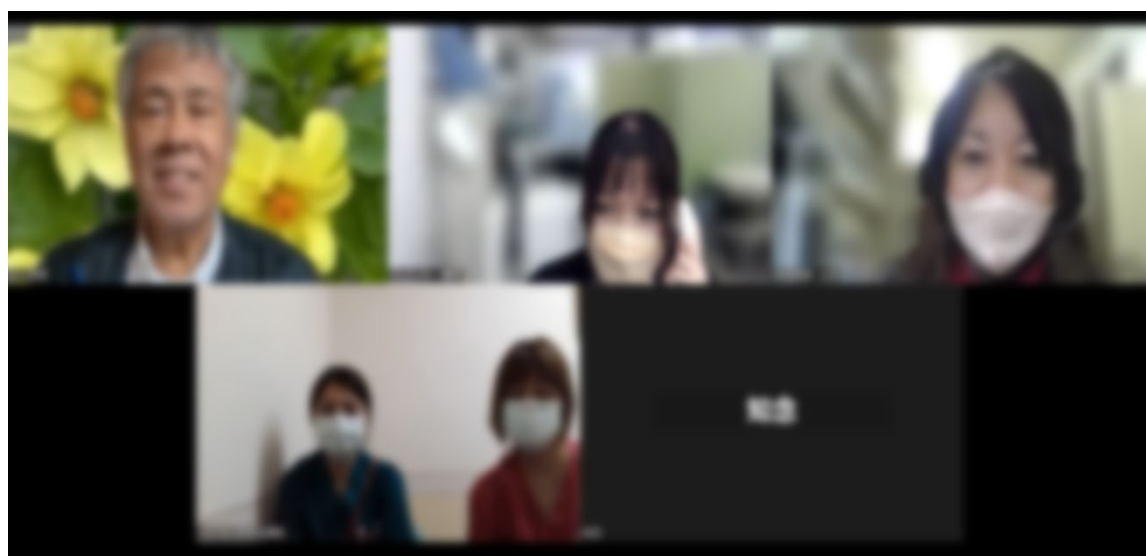
中部病院 スタッフ 5名

年度末ということで感染対策をしっかり行った上で、コーヒーを飲みながら患者サロンに参加。自己紹介と共に、最近のエピソードを話す。3月に入り春の訪れを感じたことや、自身の家族の嬉しいことなどみなさんと共有した。以前ピア・サポーターが紹介した痺れを和らげる方法など実践しとても良かったなどの声もあった。自身の本の紹介や、コミュニケーションの大切さを皆さんで情報交換を行った。がん治療をしていく中で、患者サロンで想いに共感したり、一緒に悩み、一緒に前を向きそのような仲間の存在の大切さを皆さん感じているように思えた。ピア・サポーターも仲間として寄り添い患者サロンに参加できた。



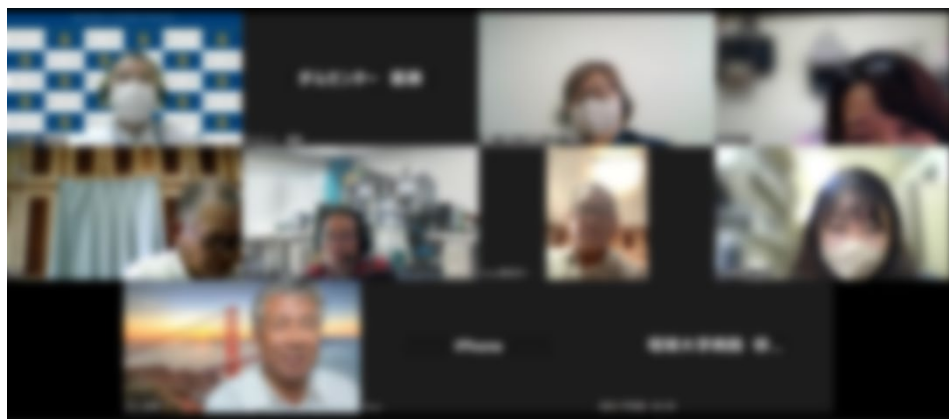
第 10 回 オンラインサロン報告書

名 称	第10回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 6 年 1 月 16 日 (火) 14 : 30～15 : 30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1 名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1 名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	・ 14 : 30 より第 10 回オンラインゆんたく会を開催。 ・ オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図った。 ・ 参加者は自己紹介をし、近況報告をする。 ・ 1 名新規の参加希望者がいたが、機器の通信が上手くいかず参加を断念。電話を使用しながら説明したが上手くいかず、今度当院へお越しの際に機器テストをすることになった。 ・ オンラインゆんたく会では、普段の何気ない話をする事でいつもの治療を忘れて楽しい時間を過ごすことも目的としている。年末や新年の話から、趣味のお花の話など参加者もお話を楽しんでいる様子。 ・ 1 人だけがお話をするのではなく、みなさん満遍なくお話をして看護師さん含めピア・サポーターも気軽にお話ができ話が弾んでいた。 ・ * 参加者 (患者様 1 名・ピアサポーター1 名、北部地区医師会病院 1 名、事務補佐員 1 名)



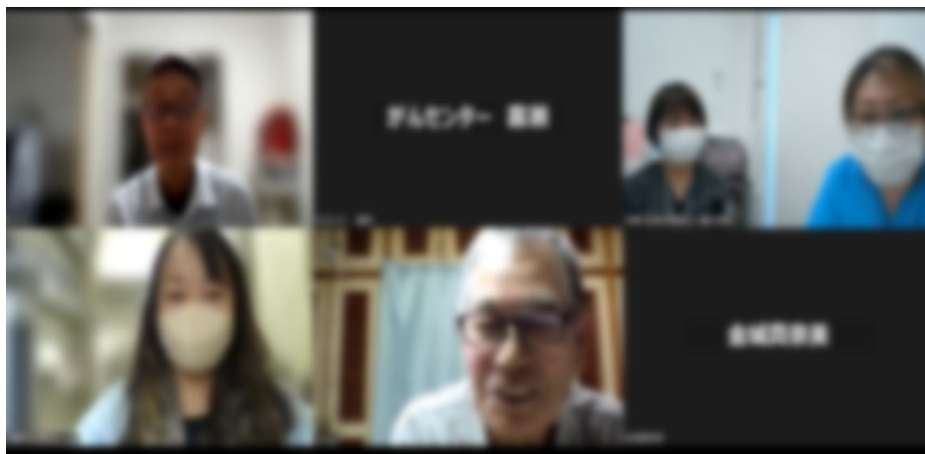
第 11 回 オンラインサロン報告書

名 称	第11回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 6 年 2 月 20 日 (火) 14 : 30～15 : 30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1 名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1 名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	・ 14 : 30 より第 11 回オンラインゆんたく会を開催。 ・ 今回はアピアランス支援モデル事業の実務者看護師中村さんによる「自分らしく過ごすための外見ケア」の講演いただく。 ・ 男性の患者さんの悩みや相談についてもどのように対応したらいいか、気付いてあげられるかなど課題点についても話があった。 ・ その後、オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図った。 ・ 参加者は自己紹介をし、近況報告をする。 ・ 今回はアピアランスケアについて自分はどうだったかなど話があがる。 ・ 一人の参加者は抗がん剤治療をしているが、毛は抜けないタイプの抗がん剤のようだと話しているが、サークル等で自分のがんについては積極的には話すことを抵抗があると教えてくれた。実際に外見の変化がなくても、普段の生活をする上で、治療前と後では精神的に違いが出てくると感じた。 ・ がん経験者は脱毛による経験を話していただいたが、男性も女性も、人と関わる時に外見について気になることが共通点であった。 ・ 今回は講演もあり患者サロンの時間が少なかったなので、次回はいつも通りのゆんたく会となる予定。 *参加者（患者さん 2 名・ピアサポーター 1 名、全国がん患者会連合会 1 名、宮古病院 1 名、講師及びスタッフ 2 名、事務補佐員 1 名）



第 12 回 オンラインサロン報告書

名 称	第12回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 6 年 3 月 19 日 (火) 14 : 30～15 : 30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 3 名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1 名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	・養成講座修了生が参加とのことで、15 分早めにピアサポーターの心得を読み合わせ。 ・14 : 30 より第 12 回オンラインゆんたく会を開催。 ・今回は申し込み者 2 名だったが、1 名は顔出しはせず話を聞くのみでの参加となる。 ・自己紹介から始まり。近況報告を行った。 ・趣味の話やがんに関すること以外の話をして皆さん和気あいあいとお話をしていた。 ・お子さんのことや県外での話もあり、自身の経験なども語り合うことができた。 ・皆さんで意見やアドバイスなどもあり楽しくゆんたくできたのではないかな。 ・がん以外の話をするすることで治療のことを忘れて普段の話を気兼ねなくお話できる場として提供でき良かったのではないかなと思う。 *参加者（患者さん 2 名、ピアサポーター 3 名、八重山病院 1 名、事務補佐員 1 名）



沖縄県地域統括相談支援センター
事業評価会議
開催報告

令和 5 年度

第 4 回 沖縄県地域統括相談支援センター事業評価会議

日 時 令和 6 年 2 月 2 日 (金) 9:00~10:00
場 所 がんセンター
出席者 天野 慎介さん (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長)
増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長)
大嶺 真希 (琉球大学病院がんセンター 事務補佐員)
喜瀬 杏妃 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員)

【議 題】

1. アピアランス支援モデル事業 (資料 1)
2. がん患者会意見交換会について (資料 2)
3. がんピア・サポーター養成講座について (資料 3)
4. 次年度の事業計画・内容について (資料 4)
5. その他

【報告】

1. 令和 5 年度 第 3 回 事業評価会議 議事要旨 (資料 5)
2. センター事業計画 (資料 6)
3. 相談件数統計 (資料 7)
4. がん ピア・サポート展 報告書 (資料 8)
5. リレー・フォー・ライフおきなわ 2023 報告書 (資料 9)
6. 石川県訪問 報告書 (資料 10)
7. その他

【報告・協議事項】

1. アピアランス支援モデル事業

アピアランス支援モデル事業の年間計画と活動報告。各イベントの参加人数等を報告した。次年度はアピアランスケアに対する予算が付かないことを踏まえて、次年度に向けての活動内容についてご助言を受ける。基本的に内容は変えずイベント開催が良いとのことで、方向性はそのままで開催頻度を減らしてはどうかとのこと。対面の開催もオンラインへ切り替えるのも手段の一つ。国立がん研究センターアピアランスセンターではブースを設けて相談窓口を設置しているように、看板を設置するのはどうかと提案が上がる。相談窓口の目印を付けて置くこととチラシもあると尚良いとのことで、次年度は相談窓口を明確に示し広報をしていくことにする。併せて動画を取り共有できるようにすることも検討。県全体勉強会の際の講義内容について動画の許可を得る、ないしは 10 分程の「アピアランスケアとは」について動画をお願いすることも検討する。

2. がん患者会意見交換会について

プログラムの変更内容の確認。また、次年度のがん患者会意見交換会開催について協議した。上原さんが発足したがん患者会連絡会の動向を見た上で、協働で意見交換会を開催することも出来るが、今後進展が無いようだったら今年度同様な形式で意見交換会を開催する方向で進めた方が良いとご意見をいただいた。次年度は精神心理的な話をしていただく講師を呼ぶことで、患者会の皆さんの参加人数を増やしたい。講師については上原さんと相談することとする。

3. がんピア・サポーター養成講座について

今年度は対象を広げ申し込み者が増えたことを報告。次年度以降も同じように対象を広げ、かつ各拠点病院から義務にはせず推薦いただけるようにすることを検討。義務にしようより、推薦のご協力依頼との形式で進めていくことにする。次年度情報提供相談支援部会で協力依頼文書を提出することが決まった。

4. 次年度の事業計画・内容について

次年度は、ピア・サポーターに自主的に活動を図ると良いとのご意見をいただく。開催マニュアル等を作成し、ピア・サポーターの皆さんの特色を活かして運営していくようにする。SNS と動画は別と考えて、動画を上げていくことを主にする。がんセンターとしても動画について一度議論する運びとなる。

5. 報告事項は書面にて報告とした。

令和 5 年度 沖縄県委託事業

令和 5 年度 がん患者会意見交換会
開催報告

実施日：令和 6 年 2 月 3 日（土）15：30～18：00

【名 称】

令和5年度 がん患者会意見交換会

【目 的】

がん患者会関係者から活動の現状や取り組みなどの意見聴取を行い、自主的・自立的活動の促進につながる意見交換会を開催する。情報交換の場を設けることで、患者会同士の円滑なコミュニケーションを図り、患者会活動の活性化に繋がるサポートを行う。

【概 要】

1. 日 時 令和6年2月3日（土） 15：30～18：00
2. 場 所 おきなわクリニカルシミュレーションセンター
3. 対 象 ①現在、がん患者会活動を行っている方
②これから、がん患者会を立ち上げたい方
③がん ピア・サポーター養成講座修了生
④その他
4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター
5. プログラム
 - 「がん患者会の立ち上げとその継続について」
天野 慎介さん（全国がん患者団体連合会 理事長/
グループ・ネクサス・ジャパン 理事長）
 - 「沖縄県のがん対策について」
河野 百合子（沖縄県保健医療部 健康長寿課 がん対策班 班長）
 - 「患者会活動（現状）報告」
各患者会代表（持ち時間：2分）
 - 「全体意見交換会」
ファシリテーター：天野 慎介さん

令和5年度　がん患者会意見交換会

日時：令和6年2月3日（土）15：30～18：00（受付15：30～）

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター（琉球大学医学部キャンパス内）

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者	備考
15:00	15:30	30分	受付		
15:30			開会		
15:30	15:35	5分	開会の挨拶	がんセンター長 増田 昌人	
15:35	15:40	5分	スタッフ紹介	講師・スタッフ	
15:40	16:10	30分	がん患者会の立ち上げとその継続について	全国がん患者団体連合会 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長 天野 慎介さん	* 質疑応答も含む
16:10	16:30	20分	沖縄県のがん対策について	沖縄県保健医療部 健康長寿課 がん対策班 班長 河野 百合子	第4期沖縄県がん対策推進計画の概要 （主に共生分野）説明 * 質疑応答も含む
16:30	16:35	5分	休憩		
16:35	17:05	30分	患者会活動（現状）報告	ファシリテーター 天野 慎介さん	各患者会（代表1名）持ち時間2分
17:05	17:45	40分	全体意見交換		
17:45	17:55	10分	写真撮影・アンケート記入		
17:55	18:00	5分	閉会の挨拶	がんセンター長 増田 昌人	
18:00			閉会		

【講師・スタッフ紹介】

No	名前	所属先	役割
1	天野 慎介	一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長 一般社団法人 全国がん患者団体連絡会 理事長	講師 ファシリテーター
2	河野 百合子	沖縄県 健康長寿課 がん対策班 班長	講師
3	小波津 真紀子	沖縄県 健康長寿課 がん対策班 主査	
4	西村 克敏	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	司会
5	仲田 ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	
6	玉寄 育子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	
7	金城 敦子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	
8	増田 昌人	琉球大学病院 がんセンター センター長 沖縄県地域統括相談支援センター 兼任	責任者
9	友利 晃子	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
10	大嶺 真希	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
11	喜瀬 杏妃	琉球大学病院 がんセンター 沖縄県地域統括相談支援センター 事務	スタッフ

【参加者一覧】

No	所属先	参加人数
1	オストミー協会県支部やんばる友の会	1
2	サバイバーナースの会「ぴあナース」	1
3	やいまゆんたく会	1
4	Be style 若年性がん患者会	1
5	daythesmilefamily 顔晴れ会（小児がん親の会）	1
6	いっぽいっぽの会	1
7	NPO法人乳がん患者の会　ぴんく・ばんさぁ	2
8	婦人科がん患者会　美ら清らcafé	1
9	NPO法人パンキャンジャパン沖縄支部	1
10	那覇西ひまわりの会	1
11	一般社団法人　グループ・ネクサス・ジャパン沖縄支部	2
13	がん　ピア・サポーター	2
16	那覇市立病院	1
17	久米島町　患者会	2
19	久米島町役場	1

【参加人数】

- ・ 12 団体（19 名）参加

【内容】

今回当センター主催として初めてのがん患者会意見交換会を開催。全国がん患者会連合会/グループ・ネクサス・ジャパン理事長の天野慎介にがん患者会の立ち上げとその継続についてご講演いただく。患者団体の継続に必要なことを上げ、主とする私たちが楽しんで患者会活動をする事の大切さを話す。天野慎介さんが属する患者会活動での例を上げ、色々な方法をお示しいただいた。がん対策班長より沖縄県の第 4 次がん対策推進計画について話す。主に共生分野を説明いただき、次年度の若年がん患者支援事業（案）についてもお話いただいた。

第 2 部として各患者会による現状報告では様々な課題を 2 分程度で発表いただく。○患者会を盛り上げたい○情報発信が課題、離島の患者さんの調査○知名度を上げる、活動費を捻出する○患者会を立ち上げたい○後継者問題○対面での活動、役割分担○会員を増やす○離島患者のサポート○啓発活動。これらの課題を元に、意見交換を行った。各患者会同士で私たちはこのように活動しているなど情報交換を活発に行い、各患者会活動に活かせるような意見やアドバイスが上がる。上原さんにてがん患者会連絡会の発足の報告もあり、各患者会の交流が行うことが出来た。

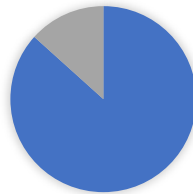
【振り返り】

- ・ 年 1 回は同じような形式で意見交換会を開催したい。
- ・ 次回からは、がん患者会連絡会と連携し、協働で意見交換会の開催を試みたい。
- ・ 講師をお招きし、患者会の参加団体を増やすことも検討が必要。
- ・ 県の担当者も参加いただくことで、患者会からの県への要望など発言出来る場を設けることは良かったのではないかな。
- ・ 患者会意見交換会をきっかけに活動がより活発化するような仕組みづくりとして、患者会同士で繋がる連絡方法も検討が必要（LINE やメールなど）
- ・ 大きなトラブルなく無事終了出来た。

令和6年度 がん患者会意見交換会アンケート集計（15名分）

Q1.「がん患者会の立ち上げとその継続について」の講演
はいかがでしたか？

まあ良かった, 2



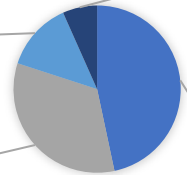
とても良かった,
13

理由：

- 1 各々に同じ悩み、問題を抱えているのだとの共感ができた事
- 2 天野さんのお話

Q2.「沖縄県のがん対策について」の講演はいかがでした
か？

どちらともいえ
ない, 2



あまり良くな
かった, 1

まあ良かった, 5

とても良かった,
7

理由：

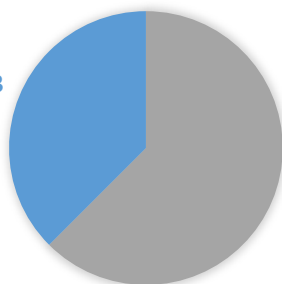
- 1 もう少し具体的な取り組みが知りたかったので、又前回と変わった事を知りたかった
- 2 もっと具体的な話を聞きたかったので…私には疑問が多かったです。

Q3.意見交換会の内容に関する満足度と時間配分はいかがでしたが。

(1) 患者会活動（現状）報告について

(時間)

短い, 3

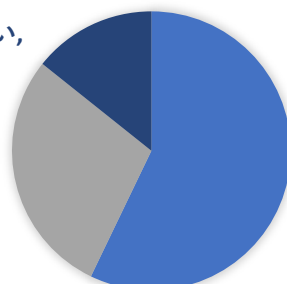


ちょ
うど
い
い,
5

(満足度)

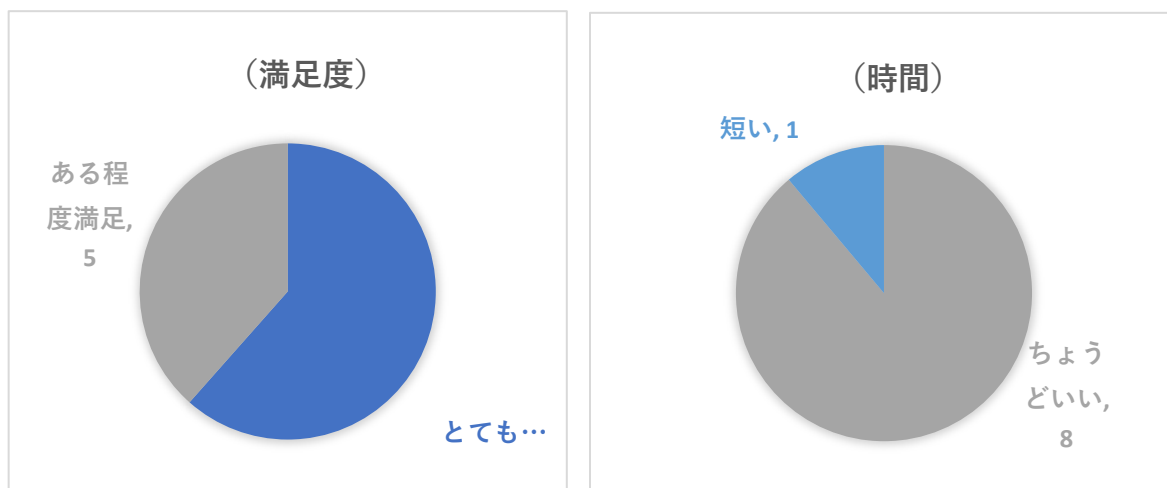
ど
ち
ら
と
も
い
え
な
い,
2

あ
る
程
度
満
足,
4



と
て
も
満
足,
8

(2) 全体意見交換会について



理由： 問題点を集約して意見交換したので分かりやすかった

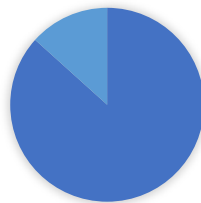
Q4.あなたの所属している患者会の課題について具体的に教えてください。

- 1 知名度が低いこと、予算がないこと、活動のメンバーを集めること
- 2 必要性は感じているが患者会を立ち上げられず数年がたっている。離島がゆえにがんを知られたくないという方も多く、公表しているメンバー数名で必要な方のために患者会を立ち上げたい。
- 3 患者会は所属してません
- 4 会員をどう増やしていくか、長年の課題
- 5 サポートブックを積極的に活用したい。無理なせず、できることからやっていきたい
- 6 離島患者さんの支援方法、情報発信の方法
- 7 メンバーを増やしたい。若い方も参加して頂きたい。楽しく充実させたい。
- 8 リアルな対面での患者会が開催出来ていないので、場所の設定含め、始めていかないといけないと思います。
- 9 人に知られたくないという状況です。楽しいゆんたく会風に進められたらと思いました。
- 10 患者会を運営していると様々な問題や課題を抱えます。そんな悩みを共有でき、顔の見れる交流情報交換の場を提供いただきありがとうございました。人材・運営・継続・資金の問題はあります。一部の人が運営に関わり負担となっていること。
- 11 会員数が年々減少しており、活動に活力がなくなりつつあるため、会員の数を増やしていくことを課題としています。会長の希望者がいなくて困っている。若い会員が会長を引き受けて欲しい。

- 12 北部地域の特性（住居の距離間が近い）、プライバシーを保ちにくい中南部に医療や当事会を求めていく傾向にある。経済的には負担が大きいのではないかと思います。身近な場所で患者会とその家族のつどいを設けていきたい。（仲間を増やしたい）
- 13 資金、人材、ネットやIT、PC

Q5.次回の意見交換会にも参加したいですか？

どちらでもない, 2



はい, 13

Q6.次回の意見交換会のご要望があればお書きください。

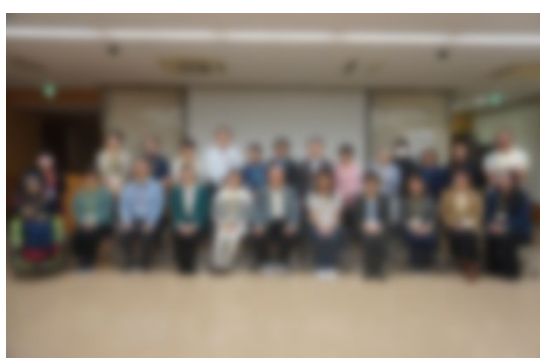
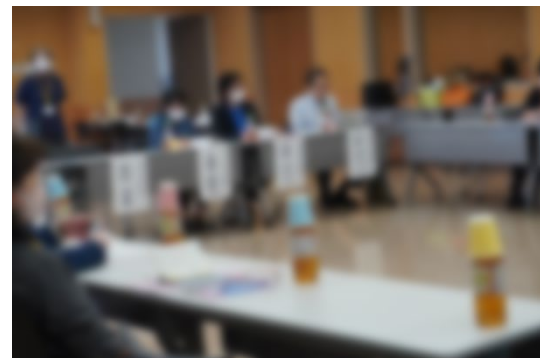
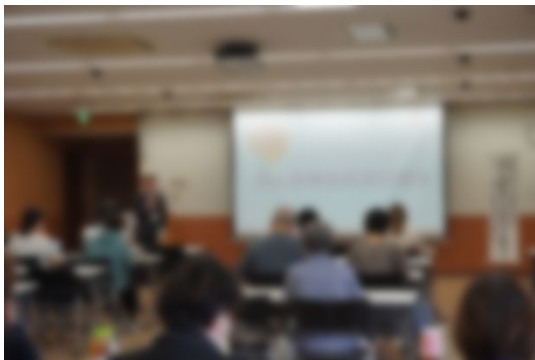
- 1 定期的に行っていただけるとありがたいです。また離島で介護もしているためZoomでの参加が可能であれば毎回参加したいと思います。
- 2 ぴあ・サポートの活動について、その悩みとかみなで共有して考えたい。
- 3 各患者会の問題を皆で話して意見を出し合うのはとても良かったと思います。
- 4 今回の様でいいと思います。
- 5 スモールグループでの意見交換があるとよい。時間が限られているので発言する人にも限りがある。皆参加したいと思っているはずです。
- 6 聞くだけなら参加。発言するなら苦手なので不参加で

Q7. ご意見・ご感想をお聞かせください。

- 1 自分の所だけでなく、みなさん考えながら、患者会をしていると分かり、頑張ろうと思いました。
- 2 色々な団体のお話が聞けてなかなか患者会を立ち上げることができず、パワーが萎えていた所だったので「頑張ろー！」という元気をもらえました。ありがとうございます。今回行政も参加してくれて一緒に話を聞くことができたので一歩前進です！
- 3 沖縄県内の患者会が多くあること、こんなにも頑張っている人達が多いのと驚きとすごいと思いました。
- 4 とにかく久しぶりに参加して良かったと思いました。天野講師のお話は特にいろんな苦労をなさっている人だなととても心に響きました。

- 5 各団体の方々の課題を聞くことができ、自団体の課題が再確認できたように思いました。また、他の団体で実践されていることが、役立てると感じました。県内患者会がもっと繋がり、協力し合えば、非常に心強いと感じています。
- 6 時間が短い、2分が気になります。
- 7 各団体の現状を知ることが出来、とても参考になりました。定期的開催し、繋がっていければと思います。
- 8 設立している所の状況が聞けて良かった。やはりプライバシー問題はどこにでもありますね。今後、設立に向けて動いて行きたいと思いました。
- 9 今回参加して元気をもらいました。患者会の継続について必要なこと5点が心に残っています。患者会の様子がちょっと分かりました。それぞれの頑張りが今に繋がっていることに拍車を送りたい。
- 10 年1~2回程度の意見交換会の開催があると良いと思います。
- 11 活動報告は、代表にやってもらいます。

【当日の様子】



参加無料
要申込み

令和5年度 津地連地区事業

令和5年度 がん患者会意見交換会

2/3 2024
[土] 15:30 ▶ 18:00

◎おきなわクリニカルシミュレーションセンター
(琉球大学医学部キャンパス内)

プログラム

- ◆がん患者会の立ち上げとその経緯について
全道がん患者会連合会/グルー・フ・ネクサス・ジャパン
理事長 安部 航介さん
- ◆沖縄県のがん対策について
沖縄県保健医療部 健康長寿課 がん対策室
部長 沢野 昌彦さん
- ◆患者会活動（現状）報告
- ◆全体意見交換

対象

- ◇現在、がん患者会活動を行っている方
- ◇これから、がん患者会を立ち上げたい方
- ◇がん・ピア・サポーター養成講座修了生
- ◇その他

申込み方法

右記のQRコードからお申込み
締切：2024年1月21日（日）まで



お問い合わせ：琉球大学病院、がんセンター内 沖縄がん情報センター
TEL：098-892-2121（直通） FAX：098-892-2122 E-MAIL: info@nkc.or.jp

令和 5 年度 沖縄県委託事業

がん ピア・サポーター養成講座

開催報告

実施日：令和 6 年 2 月 17 日（土）

主催：沖縄県地域統括相談支援センター

【名称】

令和5年度 第10回 がんピア・サポーター養成講座

【目的】

- ①これから「ピアサポート」を始める方が、1対1での対応に関する基本事項を学ぶ。
- ②受講生同士に仲間意識を持ち、今後のセンター及び個々の活動が互いに連携できる環境をつくり、コミュニケーション技術向上を目的とする。

【概要】

- 1.日 時 令和6年2月17日(土) 9:00～17:00
- 2.場 所 おきなわクリニカルシミュレーションセンター
(琉球大学医学部キャンパス内)
- 3.対 象 下記①～⑤すべてに該当する方
 - ①がん患者およびがん患者のご家族、ご遺族
 - ②現在病状の安定している方
 - ③事前学習プログラム(講義動画)を視聴できる方
 - ④講義ならびにロールプレイ(面接技法)参加出来る方
 - ⑤受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターの
がんピアサポーター(ボランティア)として登録し活動できる方
- 4.主 催 沖縄県地域統括相談支援センター(令和5年度 沖縄県委託事業)
- 5.参加費 無料
- 6.課 題

講義動画(受講前までに学習プログラムを視聴し、事前課題を提出)
厚生労働省委託事業 がん総合相談に携わる者に対する研修事業
「ピア・サポーター養成テキスト 2020年度版」のテキスト等に準拠し、
サイコオンコロジー学会、ご提供頂いた動画を使用。

- ・ピアサポートとは
- ・ピアサポーターの役割と活動指針
- ・相手を大切にすること、自分を大切にすること
- ・よりよいコミュニケーションのために
- ・がん診断の基礎知識と情報提供の注意点
- ・行政や医療機関が支援できること

事前学習動画内において、学んだことや感想を原稿用紙に各テーマ
100文字～200文字にまとめ、事前学習に関する質疑についての課題
提出あり。

第10回　がん　ピア・サポーター養成講座　プログラム（報告）

開始時間	終了時間	所要時間	項目	担当者	備考
9:00			開会		
9:00	9:05	5分	開会のあいさつ	がんセンター長 増田	
9:05	9:10	5分	講師およびスタッフ紹介	講師・相談員・スタッフ	各自前方にて一言挨拶
9:10	9:20	10分	アイスブレイク	齋藤 円先生	受講生参加型
9:20	9:40	20分	ピアサポートについて	齋藤 円先生	
9:40	10:25	45分	事前学習の復習（ピアサポートとは・役割と活動指針・コミュニケーション）	野田 真由美さん	
10:25	10:30	5分	休憩		
10:30	11:03	33分	相手を大切にすること、 自分を大切にすること バウンダリーについて	齋藤 円先生	
11:03	11:10	7分	休憩		
11:10	12:10	60分	自分の体験を語る	野田 真由美さん 齋藤 円先生	受講生参加型 *2グループ編成
12:10	12:40	30分	お昼休憩		講師・相談員は控室にて昼食 受講生お昼休憩 12：10～13：00（50分）
12:40	12:55	15分	ロールプレイ打合せ	講師・相談員・スタッフ	
12:55	13:00	5分	休憩・準備	各自	
13:00	13:20	20分	オリエンテーション（ロールプレイ）	野田 真由美さん	
13:20	13:50	30分	ロールプレイ第1セッション		相談員は各グループにて ファシリテーター 講師及びセンター長は 各グループへ ファシリテーター兼 アドバイザーとして入る
13:50	14:00	10分	休憩		
14:00	14:30	30分	ロールプレイ第2セッション		
14:30	14:40	10分	休憩		
14:40	15:10	30分	ロールプレイ第3セッション		
15:10	15:20	10分	休憩		
15:20	15:30	10分	グループ振り返り	各グループ	
15:30	16:03	33分	全体振り返りロールプレイの講評	講師・相談員	相談員各グループの振り返り発表 講師及びセンター長より全体の講評
16:03	16:10	7分	休憩		
16:10	16:20	10分	がん対策について	増田 昌人	
16:20	16:35	15分	沖縄県のピアサポート事業について	相談員 中山 富美	
16:35	16:43	8分	質疑応答	講師・相談員	司会が指名
16:43	16:50	7分	アンケート記入	受講生各自	紙面記入
16:50	16:55	5分	受講修了書	がんセンター長 増田	
16:55	17:00	5分	閉会のあいさつ	がんセンター長 増田	閉会挨拶の記念撮影を入れ替え
17:00	17:05	5分	記念撮影	全員	
17:05			閉会		

No	名前	所属先	役割
1	齋藤 円先生	市立ひらかた病院 精神科 部長	講師・アドバイザー
2	野田 真由美さん	NPO法人 支えあう会「α」	講師・アドバイザー
3	中山 富美	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	講師・ファシリテーター
4	西村 克敏	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
5	上地 久美子	沖縄県地域統括相談支援センター ピア・サポーター	ファシリテーター
6	友利 晃子	琉球大学病院 がん相談支援センター 医療 ソーシャルワーカー	ファシリテーター
7	増田 昌人	琉球大学病院 がんセンター長 沖縄県地域統括相談支援センター兼任	責任者
8	伊佐 奈々	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
9	伊佐 順子	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
10	比嘉 優花	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
11	大嶺 真希	琉球大学病院 がんセンター	スタッフ
12	喜瀬 杏妃	琉球大学病院 がんセンター 沖縄県地域統括相談支援センター 担当	スタッフ

【受講者】

No	性別	所属先	備考
1	男性	無	
2	女性	無	与那国島
3	女性	無	
4	男性	無	
5	女性	いっぽいっぽの会	北部
6	女性	ぴんくぱんさあ	八重山
7	女性	無	
8	女性	無	
9	女性	ぴんくぱんさあ	八重山
10	女性	ぴんくぱんさあ	八重山
11	女性	無	

【オブザーバー参加】

No	性別	所属先	備考
1	女性	ぬちぐく～るやいま会	八重山病院
2	女性	ぴんくぱんさあ	
3	女性	ぴんくぱんさあ	

【参加者】

11 人受講（オブザーバー参加 3 名）

【振り返り】

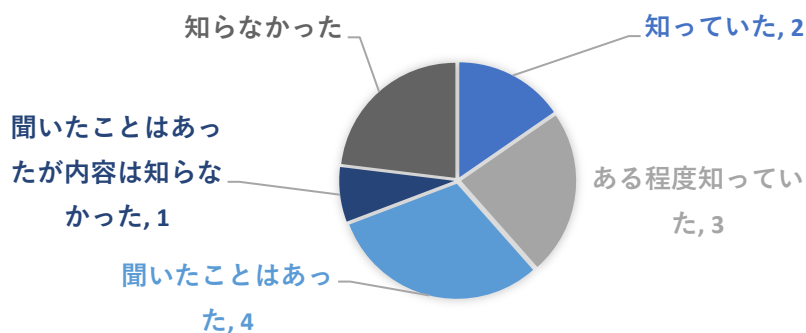
- ・今回より対象を現在病状の安定している方へと広げることで、当日欠席 2 人となったが、離島からの参加者もあり前年度より多くの受講希望者がいて良かった。
- ・案内も 2 ヶ月前から周知ができたので、次年度も引き続き早めのプログラム設定と内容を固め周知したい。
- ・今年度は新聞広告出来なかったため、次回は新聞広告なども検討する。
- ・ロールプレイ時のスライドを作成できたのは良かった。
- ・事前課題については時間に余裕を持って提出いただけるよう締切を早め設定にした方が良かった。課題提出方法を簡素化したい。
- ・がん対策やピアサポート活動について初めて聞く方にも分かりやすいようにスライドの工夫が必要。
- ・離島の方にも助成を利用して受講いただけるよう離島へき地の周知に力を入れたい。
- ・次年度は、各拠点病院にも推薦していただけるよう周知する。
- ・プログラム構成は昨年同様で休憩を多く挟みながら 1 日の研修会となった。
- ・参加者にとっても負担の少ないよう配慮し、大きなトラブルなく無事終了。

令和6年度 がん患者会意見交換会アンケート集計（13名分）

Q1.養成講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

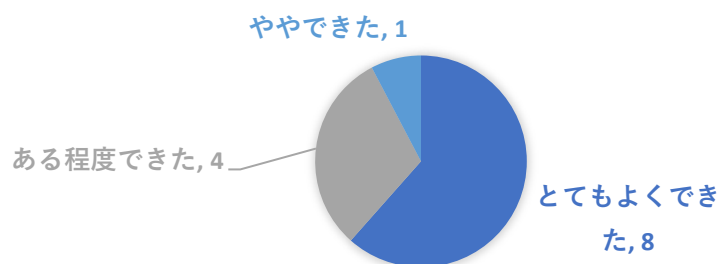
- 1 自分ががんと診断された時、同じがんの仲間と情報交換したいと思った。
（出来なかった）今は誰かのために役立ちたいと思い参加しようと思った。
- 2 寄り添う時への学びになると思って
- 3 誘われたので
- 4 ぴんくばんさあの与儀さんにお声がけいただきました。
- 5 病院勤めなのですが、緩和ケア看護師さんより声掛けがあり参加させて頂きました
- 6 R5産業まつりでポスターを見たこと
- 7 がんピア・サポーターがどのような学びをして活動している（する）のか知りたかった
- 8 私は抗がん剤の治療をしています。その影響でたまにめまいをします。それでもボランティアグループでラジオ体操をしたり、子どもの父母会に参加したりと毎日忙しく過ごしています。がんのことはほとんど考えたことはありません。がんでも楽しく過ごせると少しでも伝えられたらと思っています。
- 9 ネットで見つけて。タイミング的に受講できる時だった。がんになった経験を誰かのために生かせればいいなと思いました。
- 10 相談室を利用したことがあり、当日助けられた。自分が元気になったら、他者のためになることがしたかった。
- 11 県のホームページをみて
- 12 かかりつけの病院地域連携室ナースよりピア・サポーターにならないか？と声をかけていただいた。
- 13 自分ががんになって患者会で話をするとても楽になれました。話すこと、聴いてあげることで楽になれるので、誰かの声になれるならと思った。

Q2.ピア・サポート活動（またはピア・サポーター）を知っていましたか？



Q3.講義「ピア・サポートについて」の内容は理解できましたか？

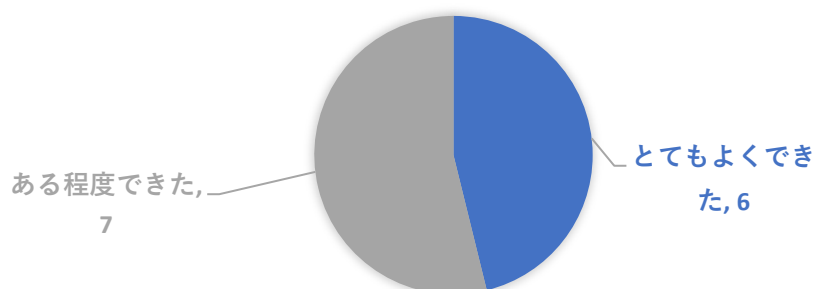
Q3.講義「ピア・サポートについて」の内容は理解できましたか？



理由

- 1 動画を事前に観ているので理解しやすかった
- 2 難しいです
- 3 事前課題プラス当日で腑に落ちた感じでした
- 4 がんを経験した私だから話せる体験談がある事、仲間がお互いにサポートすることであること
- 5 活動をスタートさせてから学ぶこともあると思う
- 6 「同じ体験をした仲間が互いに助け合う」医療者がフォローできない、生活者としての悩みを分かち合う大切な存在だと痛感しました。
- 7 対面で聞くと分かりやすかった
- 8 座学→ロールプレイ→振り返りが理解しやすかった
- 9 ロールプレイで演習できたこと

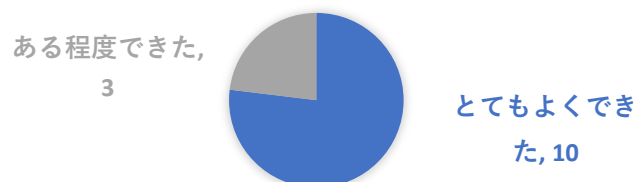
Q4.講義「事前学習の復習」の内容は理解できましたか？



理由

- 1 スライドでポイントを押さえていたので分かりやすかった
- 2 とてもためになりました
- 3 事前課題のスライドがもう少しづつ短いとありがたいかなと思いました。
- 4 「診断の基礎知識と情報提供の注意点」が医療の内容で難しかった
- 5 ボリュームがあったので（申し込みがギリギリだったが）少し駆け足気味でしたが、今日の講習でもとまったと思います。
- 6 事前に視聴していいので再確認ができて良かった
- 7 対面での講義は頭に入ってきやすかった。
- 8 分かりやすい書き方、まとめ方だった
- 9 予習としてとても良かったと思います。

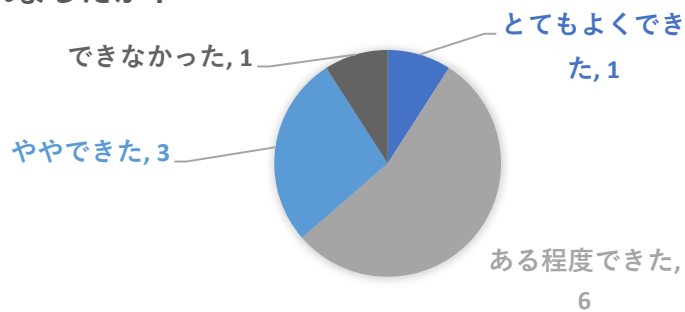
Q5.講義「相手を大切にすること、自分を大切にすること バウンダリーについて」の内容は理解できましたか？



理由

- 1 初めて聞く言葉だったが、「境界」という事、大事だと思った。「自分も相手も大切にする」事心がけていきたい
- 2 無理なくいい、相手に感情をあわせたくて良いと知り、安心の自分がいいます
- 3 自分がしんどくなってしまうのは、人の話は聞けないがとても印象に残りました
- 4 話を聞くことは、思った以上に疲れてしまうので相手を大切にすることも大事だけど、自分も大事にすることはとても大切だと感じた
- 5 サポーター活動のみならず、生きていく上で全ての人が必要なものと感じました。
- 6 自分も相手も大切に（境界をしって）する。医療者としてピア・サポーターが無理をしすぎていないかサポートしていきたいと感じた
- 7 自分をないがしろにながちなので、自分を大切にすることも学べた。
- 8 お互いがしんどくならない様にする
- 9 境界は大切にしていきたい、自分と相手のテリトリーを

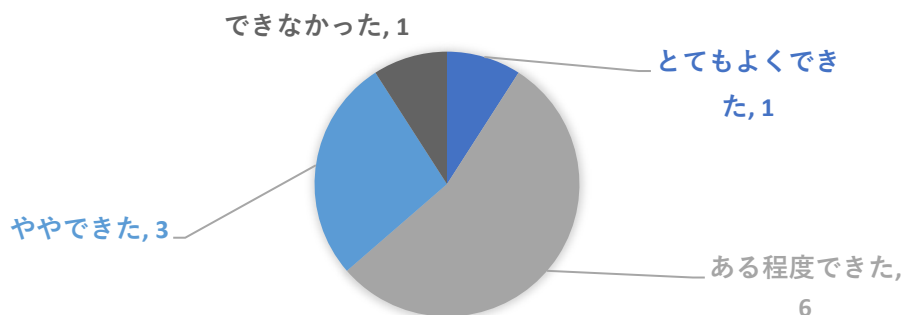
Q6.ワークショップ「自分の体験を語る」では、自分なりに語れましたか？



理由

- 1 事前に自分の体験を（頭の中で）まとめていたので、3分以内で一番話した
- 2 いことはある程度出来たと思う
- 3 難しい。7年目ですが始めて他人に話しました
- 4 まとめきれなかったので、短く語る練習が必要なことに気づけました
- 5 ある程度、話す内容とかまとめておく必要があると感じた
- 6 事前組立ては必要だったと。今後に活かそうと思う。
- 7 オブザーバーとして参加しました。自分の体験を語る場面で、辛くなったり
- 8 する方もいるのか心配でしたが、今回はいらっしゃらず良かったです。
- 9 しかし、そういう状況になるかもしれないと理解が必要と感じた。
- 10 まとまりのない話になったかも
- 11 緊張したが話せた方だと思う。
- 12 1分・3分と時間の感覚が難しかったがなれてくると体の感覚で分かりそう
- 13 ちょっと話し足りないこともあったかな？

Q7.ロールプレイでは自分なりにできましたか？



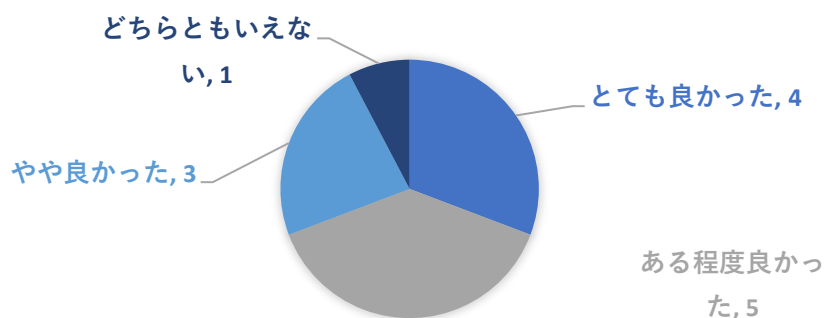
理由

- 1 「聴く」ということを意識しながら参加した。3回の役割をこなしていくこと
- 2 で少しずつやりやすくなった
- 3 思ったことと声にして話すことはまだまだ練習が必要
- 4 「これを言ったらどうなるかな、どう思われるか」を考えすぎると忸度とい
- 5 うか、「作られたもの」に寄りすぎるかなとも思った
- 6 頭が真っ白になるくらい緊張してしまい、きちんと話を聴けていなかった
- 7 のではないか。情報収集を行いながら、知識を高め話す引き出しを作って
- 8 真っ白にならないようにしたい
- 9 ロールプレイは苦手ですが…
- 10 とても緊張したが実践形式でためになった。
- 11 話題を見つける事が出来た。
- 12 お題に枝葉をつけた。ピア・サポーター側になった時、相手のことを知ら
- 13 ないので、まず知っていくところから難しい
- 14 緊張して上手く出来なかった

Q8.ロールプレイでは自分なりにできましたか？

- 1 難しいと感じたが、実際の活動を通して経験を積んでいきたい
- 2 相手の現状を知る余裕が大事なのか分かりました。
- 3 すごく必要だと思いました。トライして良かったです。
- 4 実際はもっと緊張してしまうのであろう、様々な内容のお話が聴けるのか心配ではあるが、話し方、家族構成等聞きながら話を進める方法や沈黙になった時の対応方法等なるほどが多かった。
- 5 難しかったが、全体として楽しかった。
- 6 ファシリの方の進め方や声かけも見させていただき、勉強になりました。
色々な研修のファシリテーターをしますが、ファシリは難しいですね。
- 7 最初にピア・サポーター、2番目に利用者をしましたが、最初より2番目の方がよくできてたように思えました。
- 8 患者役は想定外で難しかった
- 9 難しさを感じました
- 10 女性特有のがんは相手からすると女性の方が良いと思った
- 11 全ては、コミュニケーションの基本が大切。相手のことを思い傾聴することの大事さを知りました。
- 12 素晴らしい演習になった。アクターになった気分でした。

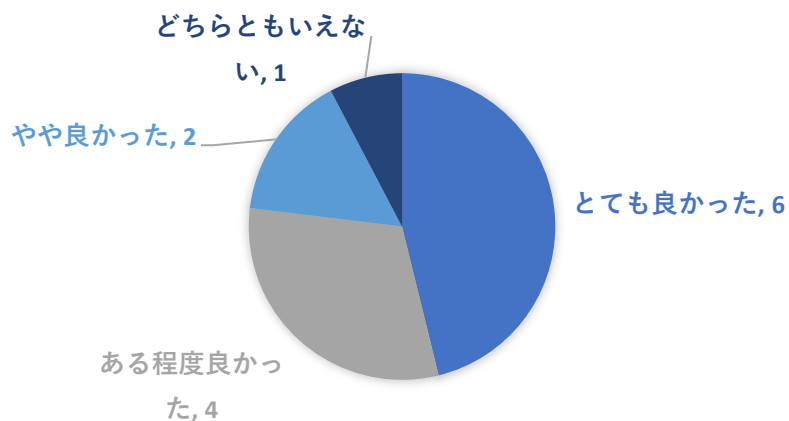
Q9.「がん対策について」の内容はいかがでしたか？



理由

- 1 県のがん医療の連携体制が理解できた
- 2 よく分かりません
- 3 思っていたより簡潔で良かったです
- 4 大まかにしか分からない
- 5 沖縄県が積極的であると感じた

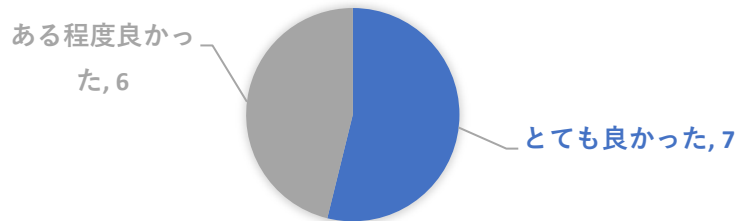
Q10.沖縄県のピア・サポート事業の内容はいかがでしたか？



理由

- 1 患者サロン・ゆんたく会開催。地域での活動（がんピア・サロン）キャラバンなど活動内容が分かりやすかった。出張ピアサポート等できる範囲内で活動していきたい
- 2 よく分かりません
- 3 助成があることで「やってみよう」と思う人は増えると思います
- 4 実際に活動しているピア・サポーターさんのお話が聞けて良かったです。
- 5 具体的などころまでは分からなかった
- 6 力を入れている感があった
- 7 もっと周知が必要ではないか？入院中や退院の際に「支援センター」と言うのはどこかで聞いたが内容までは理解できていなかった。患者のフォローに繋がる周知がもっとあれば。

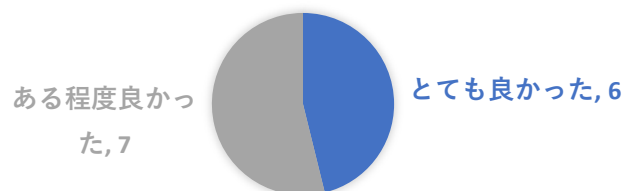
Q11.1日を通して、本講座の科目構成や日程（事前課題提出や時間帯）はいかがでしたか？



理由

- 1 事前課題提出に時間がかかった。1日の時間帯は良かった。
- 2 少し長いですね。（一日持つかな？と思いました）がなんとか終了できました）
- 3 内容がギュッと集約されていて良かったです
- 4 医療関連が難しかった
- 5 初めは長いと感じたが、終わってみたら有意義でした。
- 6 長い1日でしたが、座学からロールプレイまで濃厚な時間を過ごすことが出来ました。ピア・サポーター同士同じ仲間と出会える良い機会だったのかなと感じました。
- 7 1日ハードでしたが、2日に分けるとそれはそれで大変だったと思います。事前学習も時間を取るのが大変でした。久々に勉強した感じです。
- 8 事前課題は結構難しく、3時間程かかった
- 9 ロールプレイと講義の時間バランスが良い
- 10 久々の終日講義だったが、あっという間に過ぎたので充実したと思う。

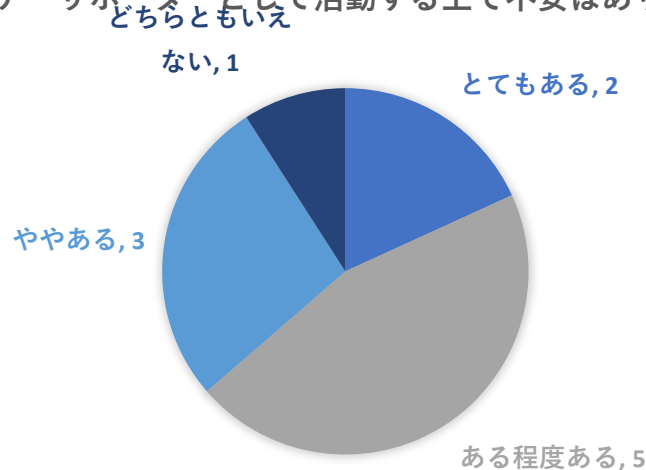
Q12.1日を通して、ピア・サポート活動について理解できましたか？



理由

- 1 ありがとうございました。
- 2 実際にされている人の声が聞けて良かったです。
- 3 Zoomでも行っていると今日知りました
- 4 事前課題を自分でよみこむより、やはり対面できく方が分かりやすい
- 5 具体的な活動方法が理解出来た

Q13.ピア・サポーターとして活動する上で不安はありますか？



理由

- 1 まだ、様子を見ながらですね
- 2 どんな人が来るか、どんな相談か、常に緊張感をもっていきたいと思います。
- 3 お話をちゃんと聴いて、情報を伝えられるか不安
- 4 話を聴くのは得意だが、話をする方は苦手。緊張をどう乗り越えるか。
- 5 時間がどれくらい取れるか
- 6 もちろん不安はあります。でも、話すことで気持ちが楽になれることを知って欲しい

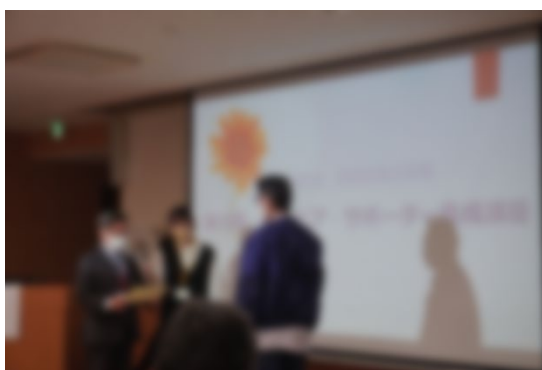
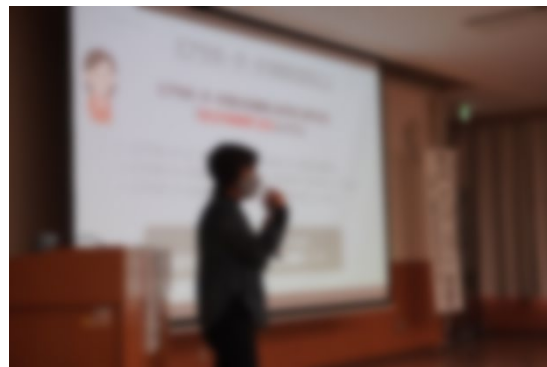
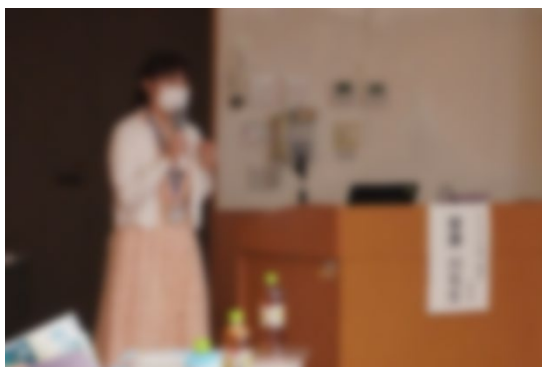
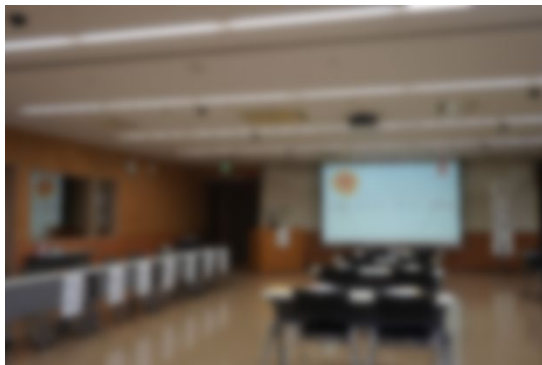
Q14.ピア・サポーターとして活動する上で、どのようなフォロー体制があると安心ですか？

- 1 実際の活動の場を最初は教えて（紹介）してもらいたい
- 2 ピア・サポーターの相談窓口
- 3 フォロー体制は知らなかったです
- 4 ある程度慣れるまでは、あまり期間をあげすぎずに実践できると継続的に関われると思います。
- 5 フォローアップ研修があるので安心
- 6 活動する時が仕事の一部として認めてもらえたら嬉しいです。
- 7 困りごと、迷いことなど、相談できる方がいたら良い
- 8 同じがん種の連携体制？

Q15.本講座へのご意見、ご感想をお書きください

- 1 ロールプレイは難しいけれどとても学びになりました。
- 2 普通お会いすることもない先生方とお話をできることは光栄です。
- 3 主催される側の人たちがいてこそこの会でありがたかったです。
- 4 自分が患者として相談したとしてもきちんと研修して対応して頂けると知っていたら、相談していたらと今さらながら後悔…素晴らしい出会いに感謝いたします。ありがとうございました。
- 5 とても楽しく参加できました。今後の活動も楽しみです。
- 6 ピア・サポーターが何を学び、実際の活動も伺うことが出来て大変良かったです。オブザーバーとして参加させていただきありがとうございました。離島でもがんピア・サポーターの認知度を上げていき、悩んでいる方の助けになれる活動が出来たらと思います。お力添えよろしくお願いします。
- 7 今回の講座に参加することで、サバイバー仲間に会えたというのも嬉しい
- 8 様々な人がいてとても勉強になり、有意義な時間でした。
- 9 とても充実した1日でした。たくさんの癌種、性別、年齢のピア・サポーターがいればもっと良いと思いました。
- 10 ないような濃い良い内容だったと思います。

【当日の様子】





第10回 がん ピア・サポーター 養成講座

2024.2.17(土) 9:00-17:00

受講無料

* 船島から受講される方は
旅費の助成があります。
※ 沖縄本島内の移動は交通
費等の助成はありません。

申込締切

1/31



場 所

おきなわクリニカルシミュレーションセンター
(琉球人学医学部キャンパス内)

受講対象

下記の①～⑤の全てに該当する方

- ①がん患者さんおよびそのご家族、ご家族
- ②現在、病状が安定している方
- ③事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方
- ④講義ならびにロールプレイ（相談技法）に参加できる方
- ⑤受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲でセンターの
がん ピア・サポーターとして登録し活動できる方

* 基本的に上記の①～⑤の全てに該当する方を対象としており
ますが、状況によっては受講対象とさせていただきます。
お気軽にご相談ください。

申込方法

左記のQRコードからお申し込み

【問い合わせ】 琉球人学医部 がんセンター内 沖縄県地域福祉相談支援センター
TEL：(098) 942-3407（直通）担当：高橋 MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

第10回 がん ピア・サポーター養成講座 カリキュラム



事前学習プログラム（動画視聴）

養成講座に先立って、基礎知識の習得のために、以下の
6項目については動画視聴をお願いしています。

1. ピアサポートとは
2. ピアサポーターの役割と活動方針
3. 相手を大切にすること、自分を大切にすること
4. より良いコミュニケーションのために
5. がん診療の基礎知識と情報提供の注意点
6. 行政や医療機関が支援できること

* 動画の視聴や課題提出方法等については、お申し込み後
にメールにてご案内します。

養成講座プログラム

2月17日(土) 9:00 - 17:00

8:30 - 9:00 (30分)	受付
9:00 - 9:20 (20分)	開会のあいさつ・オリエンテーション
9:20 - 9:50 (30分)	ピアサポートについて 高橋門先生
9:50 - 10:20 (30分)	事前学習の振り返り 野田真由美さん
10:30 - 11:00 (30分)	バウンダリーについて 高橋門先生
11:10 - 12:10 (60分)	自分の体験を語る
12:30 - 13:20 (50分)	ロールプレイオリエンテーション
13:20 - 13:50 (30分)	ロールプレイ① (1組3名グループ)
14:00 - 14:30 (30分)	ロールプレイ② (1組3名グループ)
14:40 - 15:10 (30分)	ロールプレイ③ (1組3名グループ)
15:30 - 16:00 (30分)	全体振り返り
16:05 - 16:20 (15分)	沖縄県のピアサポート事業について 相談員（調整中）
16:20 - 16:35 (15分)	質疑応答
16:35 - 17:00 (40分)	終了式・閉会

* 受講後に修了書をお渡しいたしますが、資格として認定されるものではありません
ので、ご了承ください。

【場 所】

おきなわクリニカルシミュレーションセンター
〒903-0215
沖縄県中部地区光明寺上原207番地
(琉球人学医学部キャンパス内)

【問い合わせ】

沖縄県地域福祉相談支援センター
琉球大学病院 がんセンター内
TEL：(098) 942-3407（直通）担当：高橋
MAIL：info@gansoudan-okinawa.jp

令和 5 年度 沖縄県委託事業

がん ピア・キャラバン
開催報告

実施日：令和 6 年 2 月 4 日（日）10：00～12：00

【名 称】

がん ピア・キャラバン（相談会）～泣いていい場所、提供します～

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内
要はがんピアサポーターによるがん相談とし、支援体制の普及啓発活動も同時に行う
複合イベントである。

【目 的】

1. がん患者や家族の不安軽減

当事者同士ががんに対する不安や悩み・気持ちを分かち合い、必要とする情報
を交換し合うことで病気に対する不安軽減につなげる。

2. がん ピア・サポートの周知

当センターの普及活動とし、がん ピア・サポート相談室の利用へつなげる。

3. がん ピア・サポーターの活用

当センター主催のがん ピア・サポーター養成講座修了生である登録ピア・サポ
ーターの活動の場所として提供する。

【概 要】

1. 日 時 令和6年2月4日（日）10：00～12：00

開始時間 10：00、10：30、14：00、14：30

全4回（各30分）

がんピア・サポーター 2名

スタッフ（事務員1名）

2. 場 所 県立図書館 4階 交流ルーム

3. 対 象 がん患者、そのご家族・ご遺族など

4. 主 催 沖縄県地域統括相談支援センター（令和5年度 沖縄県委託事業）

5. 参加費 参加・相談無料

7. 予 約 予約優先・当日受付

【イベント当日の流れ】

9:00～ 9:45 会場設営

9:45～10:00 打ち合わせ

10:00～12:00 受付・相談会（各30分ずつ×4回）

12:00～12:30 片付け・退館

【参加人数】 1組

【振り返り】

前年度同様に会場を使用。準備は皆さんのご協力もあり時間通りに設置。当日、がん関係の本など県立図書館担当おすすめとして紹介。相談ブースでは、パーティションを使用しプライバシーに配慮した。周知不足もあってか、当日は1組の参加となる。次年度からは年間計画に盛り込み、前もって周知していきたい。次回は何か催し物も併せての開催を検討が必要。県立図書館担当者も協力的で、次年度からは毎年1月～2月にかけてのピア・サポート展と併せて相談会を行う運びとなる。

【当日の様子】

